

## 連合山形を中心とする地域活動の展開

---

連合山形総研・連合総研「山形県内の地域活動に関する共同調査研究プロジェクト」(\*座長)

\*立松 潔(山形大学教授・連合山形総研所長) 安田 均(山形大学教授)  
戸室 健作(山形大学准教授) 森 俊幸(連合山形事務局長)  
高橋 朗(元連合山形副事務局長・前山形県労福協専務理事)  
高木 郁朗(日本女子大学名誉教授・連合山形総研顧問)

---

2014年1月発足の本プロジェクトでは、連合山形および全国の地方連合会にとって今後の地域活動を展開する上での参考となるように、連合山形結成から現在に至るまで、連合山形あるいはその周辺でどのような地域活動に取り組んできたかを明らかにした。ここでは、山形県内で実施された(している)地域活性化や地域コミュニティづくりに関する取り組み全般を「地域活動」と定義した。

報告書の構成は、第1章で、連合山形結成以降25年間の地域活動の流れを歴史的に整理し、それをうけ第2章から第11章までは、地域活動の10事例をヒアリングにもとづき詳細にまとめた。「まとめに代えて」では、地域活動の具体的内容をふまえ、地域ニーズとの関係性、人材やノウハウ、資金力などの対応能力の問題を中心に課題提起を行った。

---

### 目次

はしがき

第1章 連合山形結成以降の地域活動の変遷

第2章 地域住民からの様々な相談に応える～連合山形、山形県労福協の取り組み～

第3章 労働組合の存在をアピールする取り組み～環境問題や農業に軸足を置いた三つの地域活動の事例から～

第4章 地域の人材育成に貢献する労働者自主福祉事業～「ふるさと奨学ローン」を中心に～

第5章 雇用を中心とした労使パートナーシップの展開～労使共同宣言、地域労使就職支援機構の事例から～

第6章 平成の市町村合併問題への取り組み～住民自治を考える山形県民会議、連合山形、自治労山形県本部の動き～

第7章 生活者(労働者)と社会とのパイプ役を果たす取り組み～米沢における産官学金労医連携の事例から～

第8章 市民を巻き込む場をつくる取り組み～JSDの地域活性化の事例から～

第9章 地域ネットワークの形成～コーディネーターとしての役割を発揮する～

第10章 吉村知事支援と政策活動

第11章 地域ミニマム規制をつくる～公契約条例とトラック最賃に関する取り組み～

まとめに代えて 連合山形の地域活動の成果と展望